

特集

風水害に備える

広報
ひこね



2014

9/1

平成 25 年台風 18 号の影響で増水した市内の河川の様子
写真上から①芹川：旭橋下流 ②犬上川：宇尾大橋下流 ③宇曾川：金沢大橋上流
(滋賀県提供)

皆さんは、「まさか、彦根市が災害に襲われることはないだろう」と漠然と思ってはいませんか。
このページの写真は、市内を流れる河川の状況を撮影したものです。風水害は私たちにいちばん身近で、思わぬ被害をもたらす災害のひとつであり、彦根市も決して災害と無縁なまちではありません。
災害は、人々の記憶から消えかけるタイミングで発生すると言われています。災害には、ふだんから備えておくことが大切です。まずは、皆さんのご家庭から防災について、取り組みを始めましょう。
問い合わせ先 困危機管理室 ☎30・6150、FAX23・1777



写真①は、平成2年の台風19号で崩れた犬上川橋。この台風では、家屋の浸水被害も発生しました。写真②は現在の犬上川橋の様子。
写真③は、平時の芹川。特別警報が発令された平成25年の台風18号襲来時には、写真④のように増水し全市民の3割強に避難指示が出され、実際に1,700人以上の人が小学校などに避難をしました。(写真③、④は滋賀県提供)

災害時の情報確認

今、何が起きているのか？

市ではホームページやラジオなどを使って、正確な情報を速やかに提供できるようにしています。

災害情報や避難情報の収集はもちろん、日頃の防災対策にも活用してください。

滋賀県土木防災情報システム

(<http://www.shiga-bousai.jp/index.php>)

気象情報や河川情報などを確認できます。

彦根市メール配信システム

事前に登録している人にメールで情報配信をしています。(下のメールアドレスに本文が空白のメールを送信することで登録の手続きができます。詳しくは彦根市ホームページを確認してください)

✉メールアドレス

touroku@hikone-city.jp



ツイッター

(彦根市防災@bousai_hikone)

災害時には、市内の被害状況や、避難施設情報などをお知らせします。

彦根市ホームページ

(<http://www.city.hikone.shiga.jp>)

災害等で被害の発生が予想され、市役所に警戒本部または災害対策本部が設置されたときなどには、「彦根市緊急災害情報」を表示し、避難情報などの緊急情報をお知らせします。(防災に関する情報も、掲載されています)



彦根地方気象台ホームページ

(<http://www.jma-net.go.jp/hikone/>)

天気情報や台風情報などの各種気象情報を確認できます。



ラジオ (エフエムひこね 78.2MHz)

災害時には、市内の被害の状況や避難施設情報などを発信しています。

テレビ

(NHK データ放送「安心・安全ポータル」)

リモコンのdボタン(右の写真)を押すと、災害情報や避難情報などを確認できます。

※ボタンの位置はリモコンによって異なります。



風水害時の避難情報

避難準備情報

特に避難するのに時間がかかる人は、避難を始めましょう。それ以外の人は、避難の準備をしましょう。

避難勧告

通常の避難行動ができる人は、避難を始めましょう。

避難指示

避難中の人は、避難を完了します。まだ避難をしていない人は、直ちに避難しましょう。

ただし、危険な状況(既に浸水しているなど)の中での避難場所への移動は、できるだけ避けて、安全の確保を最優先しましょう。
避難場所へ移動する時間がない場合や、移動することでかえって危険が伴うおそれがある場合は、自宅や近くの建物の2階以上など、比較的安全と思われる場所へ避難することも考えましょう。

注意報・警報・特別警報

注意報

災害のおそれがあるときに発表
最新の情報を収集し、災害に備えた点検や準備を始めましょう。

警報

重大な災害が発生するおそれがあるときに発表
市が発表する避難情報に注意し、必要ならば、早めに避難しましょう。

土砂災害警戒情報

大雨警報が発表されている状況で、土砂災害発生の可能性が極めて高いときに発表

特別警報

重大な災害が発生するおそれが非常に大きいときに発表
数十年に一度の大災害が予想されます。周囲の状況に注意し、直ちに命を守る最善の行動をとりましょう。

防災家族会議

開いていますか？

災害が発生したとき、必ず家族と一緒にいるとは限りません。ふだんから家族と災害が発生したときにすべきことや連絡方法などを、下の「家族会議での確認事項・防災対策」を参考に話し合っておきましょう。また、ひとり暮らしの人は、いざというときに助け合える人や、連絡が取れる人を確認しておきましょう。（防災対策の詳細は、全戸配布している「彦根市民防災マニュアル」や「彦根市水害ハザードマップ」で確認してください。彦根市ホームページでも確認できます。）



彦根市民防災マニュアル
(左)と彦根市水害ハザードマップ

●家の防災対策

- 鉢植えや物干しざおなどが風に飛ばされないよう、屋内へ移動させるか、しっかりと固定する。
- 側溝や排水路を掃除し、水の流れをスムーズにする。
- 家の内外に危険な場所はないかチェックし、必要な場合は改善（修理や補強）する。

●備蓄品・非常持出品

- 停電に備えて、懐中電灯や携帯ラジオ、予備の電池を準備する。
- 断水に備えて、飲料水を確保する。
- 浴槽に水を張るなどして、トイレなどの生活用水を確保する。
- 非常持出品（家族構成、年齢等に応じて必要なもの）を準備する。
- 備蓄品や非常持出品の使用期限や賞味期限を確認する。
- 救急薬品を確認する。（ふだんから服用している薬のある人は、処方箋の写しなどがあると安心です）



備蓄品・非常持出品の例
(食糧、水は成人1人3日分を用意)

家族会議での

防災対策 確認事項

●災害時の役割分担

- 災害が発生したときに、各自がとる行動（情報収集、戸締まり、避難誘導など）
- 高齢者や乳幼児がいる場合は、助けにいく人

●避難場所、避難経路

- 最寄りの指定避難場所や自治会単位で集まる一次的な避難場所
- 家族が離ればなれになった時の集合場所（集合場所の第2、第3候補も決めておくとういでしょう）
- 避難場所まで経路の下見



●家族との連絡方法

- 家族が離ればなれになった時の連絡方法（災害用伝言ダイヤル、災害用伝言板、貼り紙など）
- 家族の緊急連絡先（職場などの連絡先を取りまとめて、携帯できると良いでしょう）

自分たちのまちは自分たちで守る 自主防災組織

自主防災組織（防災会）は、どのような組織？

大規模な災害が発生したとき、同多発的に被害が発生するため、公的防災機関だけでは、十分に対応できないことがあります。そのような時に力を発揮するのが、地域の協体制です。東日本大震災や阪神・淡路大震災では、地域住民が助け合い、さまざまな困難を乗り越えました。また、復興にも大きな力を発揮して

います。自主防災組織とは、このように地域に住む人たちが「自分たちのまちは、自分たちで守る」という心構えで、自発的に防災活動を行う組織のことです。地域の防災体制を築くことが、自分や家族の身を守ることにつながります。

防災意識の普及活動・地域のコミュニケーション

危険箇所の点検

平常時の活動

防災備品の点検



防災訓練の実施



非常時の活動

情報伝達



救出救護

初期消火



給水・給食

「災害は我が身のこと」 自主防災会を結成

自主防災組織は、「機会があれば結成したい」と数年前から考えていました。そのような中で、東日本大震災や昨年の台風18号などが発生し、災害が他人事とは思えないようになり。そこで、自治会で自主防災組織結成の提案をしたところ、多くの人の賛同を得て、平成26年6月に松原町千原自主防災会の結成に至りました。

自主防災会の活動について住民の理解を得るために、自治会の広報紙などを活用して情報を共有し、議論を重ねる中で、多くの人が現状に不安を抱いていることが分かりました。この結果を見て「やる意味がある」と感じています。

今後は、住民の防災意識や知識の向上に力を入れていきたいと考えています。住民同士のふだんのつながりや支え合いの大切さを再認識することで、人に優しいまちになることを願っています。



松原町千原自主防災会
防災会長 谷口 純明さん

あなたのまちの自主防災組織を応援しています

市では、自主防災組織の活動にさまざまな支援を行っています。

「かまどベンチを設置したいが、補助金は交付されるのだろうか?」「防災会の活動をもっと活性化するために、防災講習会を開催したい!」など、そんな皆さんのお

声にお応えします。

詳しくは、困りごと管理室までお問い合わせください。



▲設置されたかまどベンチ。非常時は炊き出しなどに使用できる。

ガスライターなどの分別にご協力を

困 清掃センター

ガスライターやスプレー缶が原因と思われる収集車の火災が毎年発生しています。ごみや資源は正しく分別してください。

ガスライターの処理、分別の仕方
ガスを使い切り、着火しないことを確認



埋立ごみの収集日に、埋立ごみと別の袋に入れて、集積所へ



または、困生活環境課（市役所一階）、支所、各出張所、福

包丁・ナイフなど刃物類やガラスの出し方

困 清掃センター

ごみとして捨てる包丁・ナイフなどの刃物類は、職員が安全確保のため「埋立ごみ」の日にし出してください。

また、刃物類や割れたガラスは、布や紙で包んで「危険」と表示して埋立ごみ指定専用袋に入れてし出してください。

問い合わせ先 困清掃センター ☎22・2734番、FAX24・7787番

市職員採用試験 申込受付期間の延長

困 人事課

次の市職員採用試験の申込受付期間を延長します。

- ▼身体障害者対象一般事務
- ▼初級土木技術
- ▼初級消防職員

いずれも、**9月8日(月)午後5時15分まで**(郵送の場合は、9月8日(月)の消印有効)

※受験資格や試験日(9月21日(日)などの変更はありません。詳しくは8月1・15日号12ページをご確認ください。
申込・問い合わせ先 困人事課 ☎30・6106番、FAX22・1398番

子ども子育て支援新制度がスタート(平成27年4月開始予定)

困 子育て支援課

すべての子どもたちが、笑顔で成長し、すべての家庭が安心して子育てでき、育てる喜びを感じられる社会を目指して、就学前の教育や保育の量の拡充、質の向上を進める「子ども・子育て支援新制度」が平成27年度から始まります。この新制度では、保育所や市立幼稚園を利用する場合、手続きの時期や流れは大きくは変わりませんが、教育・保育の必要性に応じた市の認定(下表)を受ける必要があります。認定の申請方法などの詳細は、募集案内と併せてお知らせします。

平成27年度の保育所の募集案内は広報ひこね10月1日号、市立幼稚園は同11月1日号でお知らせする予定です。私立幼稚園の申込方法など



彦根市農業委員の皆さん

地域	委員名	担当区域(町)
松原	北川秀夫	馬場・松原・大藪・中藪・長曾根・後三条・橋向・長曾根南・船町・旭町・元町・大東町・佐和町・立花町・京町一～三丁目・中央町・錦町・河原一～三丁目・銀座町・芹橋一、二丁目・新町・大橋町・金亀町・尾末町・本町・城町一～三丁目・池州町・栄町一、二丁目・中藪一、二丁目
		松林康博
福満	吉岡すみ子	西今、野瀬
	木村正彦	岡、山之脇、平田、和田、戸賀、小泉
青波本	高田博	正法寺、野田山、地藏
	松本忠男	古沢、里根、外町、安清、芹川
磯田	北川幸造	大堀、西沼波、東沼波
	田中条次郎	八坂、八坂北、須越、三津屋
南青柳	辻清	甘呂
	稲本允彦	開出今
日夏	西澤好子	日夏
	中辻貢	下矢倉、甲田、笹尾、荘厳寺、善谷、中山、仏生寺
鳥居本	松宮秀治	宮田、佐和山、鳥居本、
	吉田定一	小野、原
高宮	馬場英一	高宮
	田中金二	清崎
亀山	森安正	賀田山
	久木弘司	千尋、安食中、大堂、楡
河瀬	近藤定雄	出町、葛籠、法土、犬方
	川村憲一	南川瀬、野口、川瀬馬場
稲枝東	小林為夫	極楽寺、森堂、金剛寺、辻堂、蓮台寺、堀、広野
	山内善男	三津、海瀬
稲枝北	瀧優	肥田、野良田
	大西治喜	金沢、稲里
稲枝西	大西太郎	彦富、金田、稲枝、稲部
	林孝利	石寺
稲枝南	西川末美	下西川、上西川
	福原昭一	薩摩、柳川、甲崎
稲枝西	中川嘉和	田原、上岡部、下岡部
	田口源太郎	本庄、出路、上稲葉、下稲葉
稲枝西	中川正	服部、普光寺、田附
	野田一光	南三ツ谷、新海

決まりました 彦根市農業委員

困 農業委員会事務局

今年7月の改選によって、左の表の皆さんが、第22期彦根市農業委員に決まり、会長には田口源太郎委員が就任されました。彦根市農業委員の皆さんは、左表の区域の農地転用などを担当します。

建物を新築・増築した皆さんへ 固定資産税の家屋調査にご協力ください

困 税務課

住宅、倉庫、事務所、店舗など、建物を新築・増築する

問い合わせ先 困農業委員会事務局 ☎30・6133番、FAX24・9676番

と、固定資産税(市街化区域内では固定資産税と都市計画税)が新たに課税されます。この固定資産税の税額を計算するために、困税務課の職員が建物の調査に伺います。建物の外観とともに、各部屋を拝見しますので、必ず建築主か、家族のどなたかの立ち会いをお願いします。調査時間は、30分から1時

間程度です。調査の際に、建物の平面図・立面図などの図面や、仕様・設計書、建築確認申請書などをご用意いただくこと、より短時間で正確な調査ができます。留守がちなお宅は、事前に都合のよい日をお知らせください。調査日時を調整します。また、以前から課税されている建物を取り壊したときや、

工事ごみの一部臨時休館のお知らせ

困 子どもセンター

空調設備工事のため、本館部分を臨時休館(11月1日(土)～同30日(日))します。なお、11月1日(土)、同30日(日)は全館休館になります。

一部休館中は、アリーナをさらにひろげ、遊具コーナー、カフェテリアとして開館します。入場は団体入口からお願いします(休館中、アリーナでスポーツなどの利用はできません)。ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力をよろしくお願いします。

問い合わせ先 困子どもセンター ☎28・3645番、FAX28・3646番



は直接各幼稚園にお問い合わせください。
問い合わせ先 困子育て支援課 ☎23・9597番、FAX26・1768番

認定区分	対象年齢など	利用先
1号認定	満3歳以上で幼稚園を利用する子ども(2号認定を除く)	幼稚園
2号認定	満3歳以上で保護者の就労や疾病などにより、保育を必要とする子ども	保育所 (保育所の待機状況によっては、幼稚園利用の場合あり)
3号認定	満3歳未満で保護者の就労や疾病などにより、保育を必要とする子ども	保育所

「高齢者・障害者の人権あしん相談」強化週間

大津地方法務局

「高齢者・障害者の人権あしん相談」電話を設置します。高齢者や障害者をめぐるとまざまな人権問題について相談に応じます。

日時 9月8日(月)～同14日(日) 午前8時30分～午後7時 (土日曜日は午前10時～午後5時)

電話番号 (全国統一番号) ☎0570-003-110番

※この期間以外にも、平日の

午前8時30分から午後5時15分まで、人権擁護委員・法務局職員が相談に応じています。

問い合わせ先 大津地方法務局人権擁護課 ☎077-522-4673番

9月は「同和問題啓発強調月間」です

困人権政策課

市では、強調月間にあわせて、人権啓発パネル展を開催します。はーとびるメッセー

市内の人権擁護委員の皆さん

氏名	住所	電話番号
桂 晃 照さん	西今町 609	22-4023
河 分 武 士さん	堀町 311-1	28-1808
小 山 壽 子さん	鳥居本町 1332-20	22-5072
善 利 孝 子さん	芹町 12-21	22-3863
寺 崎 政 子さん	野田山町 580-41	23-1981
秦 栄 信さん	日夏町 993	28-0577
馬 場 世 紀さん	高宮町 1888	22-1963
廣 野 政 三さん	芹橋二丁目 9-9	23-0285
松 田 貞 夫さん	大藪町 2014	23-4427
安 居 芳 樹さん	南三ツ谷町 1071	43-2928
吉 田 徳一郎さん	京町三丁目 3-21	22-0163
若 杉 一 夫さん	平田町 845-1	23-3645

(9月1日現在)

9月1日(月)～同10日(水) 屋外広告物 クリーンキャンペーン

困都市計画課



全国一斉に「屋外広告物(※)適正化旬間」が実施されることに合わせて、市内でも「屋外広告物クリーンキャンペーン」を実施します。

- ①屋外広告物のルールの普及啓発
- ②道路などに掲出された違反広告物(はり紙、はり札、広告旗、立看板など)の簡易除却
- ③違反屋外広告物の是正に対する取り組み

※屋外広告物 文字、イラスト、写真やシンボルマークなどを常時または一定期間継続して、屋外で公衆に対して表示されるものをいいます。営利を目的とするものに限りません。

彦根市の規制地域 広告の種類	禁止地域	許可地域
	琵琶湖・内湖景観形成地域(彦根市景観計画) 第1種低層住居専用地域、風致地区など	禁止地域以外の全域
自家用広告物	総面積5㎡を超える場合は、許可を受ける必要があります。 ※地域によって総面積15㎡以下、その他個別基準があります。	総面積10㎡を超える場合は、許可を受ける必要があります。 ※個別基準があります。
自家用以外の広告物(非自家用広告物)	設置できません。 ※ただし、案内図板で個別基準を満たすものは許可を受ければ表示できます。	全て許可を受ける必要があります。 ※個別基準があります。

屋外広告物の規制(概要) 屋外広告物を表示または掲出する場合は、規制地域や広告の種類によって許可を受ける必要があります。

問い合わせ先 困都市計画課 景観・まちなみ保全室 ☎30-6124番、FAX 24-8517番

第3号被保険者の届出忘れはありませんか

彦根年金事務所

第2号被保険者(厚生年金保険や共済組合に加入している人)に扶養されている20歳以上60歳未満の配偶者は、第3号被保険者として国民年金に加入することになります。

加入手続きは、第2号被保険者の勤務先を経由して行うことになります。

第3号被保険者の国民年金保険料は、第2号被保険者の加入している年金制度が負担しますので、ご自分で納める必要はありません。

問い合わせ先 彦根年金事務所(外町) 国民年金課 ☎23-1114番



2013の入賞作品の展示や、人権啓発キャラクター「ジンケンダー」のDVDを放映します。



日時 9月1日(月)～同8日(日) (8日は午後4時まで)

場所 市役所1階ロビー
問い合わせ先 困人権政策課 ☎30-6115番、FAX 24-8577番

彦根市議会 インターネット配信開始

困議会事務局

彦根市議会では、開かれた議会と迅速な議会情報の提供を目的に、9月定例会から議会の様子をインターネットで映像配信します。

映像は、生中継で視聴できるライブ配信と、過去に開催された議会を視聴できる録画配信の2種類です(録画配信は9月定例会以降の議会が対象です)。パソコン、スマートフォンや、タブレット端末から視聴することができます。

彦根市議会ホームページ内の映像配信専用ページからご覧ください。

問い合わせ先 困議会事務局 ☎30-6130番、FAX 22-0906番

ご利用ください 「中小企業労務管理相談センター」と「業務改善助成金」

中小企業労務管理相談センター

中小企業主の皆さんのために、経営面と労働面の相談や業務改善助成金の相談に、専門家がワン・ストップで対応する無料の相談窓口を設置しています。

また、労働能率を上げるための設備や、器具の導入などに交付される「業務改善助成金」があります。詳しくはお問い合わせください。

問い合わせ先 中小企業労務管理相談センター(大津市打出浜2-1 コラボしが21 6階 滋賀県社会保険労務士会事務局内) ☎077-526-3760番



大企業の余剰パソコンを、一般家庭に有効活用頂くエコ推進活動です

ウィンドウズ7 ノートパソコンお譲りします

富士通・東芝製 12～15型 機器は無償でお譲りします。お譲り希望の方はウィンドウズ7正規認証版と、インストール諸費用をご負担下さい。ワープロ・表計算・プレゼンソフト2013年版付 DVD-CD視聴可 一台あたり諸費用 **23,000円** (税込)

今回お譲りの台数 30台 会場でご確認下さい。

日時 2014年 9月27日(土) 午前10時～午前12時

会場 彦根市民会館第二会議室 彦根市産末町1-38

お問い合わせは会場担当 田中まで **080(3677)5329**

マイクrosoft社認定 MRR 主催 株式会社フォーインク 名古屋市中区東桜 2-3-7 東カンビル1F TEL 052(380)9211 http://forincs.com

Microsoft REGISTERED Refurbisher

総合住宅リフォーム

住まいのことなら何でもおまかせ!!

屋根・外装 塗装 月々 **5,000円**～ (ローン有)

株 三 共

【本社】彦根市和田町41-11
【支店】近江八幡市十王町339-6-102

0120-272-852

株三共は、京都サンガF.C.のオフィシャルスポンサーです

話してください あなたの悩み 9月10日～同16日 自殺予防週間 朝、すっきりした目覚めを迎えていますか

内閣府によると、平成25年中の全国の自殺者数は27,283人でした。毎日約75人の命が失われていることとなります。

自殺の原因でいちばん多いのは健康問題です。なかでも「睡眠」は運動・栄養とともに、心身の疲労を回復する重要な要素です。しかし、日本人の睡眠時間は、世界各国に比べて最も短いと言われています。

快眠のためにふだんの生活を見直しましょう

▼朝の光と朝食

朝の光を浴びると、セロトニンというホルモンが分泌されて脳が覚醒します。また、朝食は簡単なものでも、脳のエネルギー源になる糖분을補給しましょう。

朝の光と朝食で脳が朝を感知すると、約15時間後に「睡眠ホルモン」が活性化され、その日の夜には、質の高い睡眠をとることができます。疲労を回復することで、次の朝にすっきりと目覚めることができます。

▼質の良い睡眠をとるために

就寝前は、コーヒーや緑茶、チョコレートなどカフェインが含まれる食べ物や、たばこやアルコールも摂らないようにしましょう。アルコールは寝付きをよくしますが、眠りが浅くなり熟睡できません。

また、運動を習慣的に続けると、寝付きが良くなり深い睡眠が得られます。激しい運動より、体に負担が少なく継続し易いウォーキングなどを夕方にするのが効果的です。

入浴は、38度のぬるめのお湯で25～30分、42度の熱めのお湯なら5分程度で、就寝の2～3時間前に入ると深い睡眠に効果があると言われています。

問い合わせ先 困健康推進課 ☎24-0816、FAX 24-5870

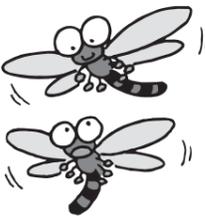


子どもセンター
カロム名人になろう

＜内容＞ 彦根を中心に古くから伝わる盤上ゲーム「カロム」の歴史やルール、技を知り、対戦を楽しみましょう。
＜日時＞9月13日(土)午後1時30分～同3時
＜場所＞子どもセンター(日夏町)
＜対象＞5歳～小学生(保護者同伴)
＜定員＞40人(先着順)
＜費用＞無料
＜申込開始日＞9月6日(出)午前8時30分
＜問い合わせ先＞子どもセンター ☎28・3645番、FAX 28・3646番
※電話が窓口で申し込んでください。

介護予防運動指導員
養成講座

＜趣旨＞ 介護予防のための筋力運動や、有酸素運動を取り入れた金亀(根気)体操を地域に伝える指導員になりませんか。
＜日時＞9月18日～11月13日の毎週木曜日 午後1時30分～同3時30分
＜場所＞福祉センター(平田町)別館2階
＜対象＞金亀体操を継続したいと考えている5人以上のグループ内の代表者1～2人(修了後は指導員として、老人クラブやサロン、友人などに体操を指導していただきます)
＜定員＞15人
＜費用＞無料
＜申し込み先＞アロフエント彦根 ☎522・0044番、FAX 24・5870番



ブラジル料理教室

＜内容＞ 本場のブラジル料理を作りながら、ブラジルの食生活や文化に親しみましょう。
＜日時＞9月20日(土) 午前10時～午後1時
＜場所＞男女共同参画センター「ウイズ」平田町
＜対象＞市内に在住・在勤・在学の人
＜定員＞15人(先着順)
＜費用＞千円
＜申し込み期間＞9月1日(月)～同18日(木)
＜持ち物＞エプロン、三角巾、ふきん
＜託児＞ありません

湖東の道を訪ねて

＜内容＞ 地域に伝わる歴史や文化遺産を、地域のガイドと一緒に巡ります。中山道の各宿場巡りや、その周辺地域を歩きます。各コースの内容や集合場所などの詳細は、お問い合わせください。
＜日程＞9月27日、10月4日、同11日、11月8日、同15日(いずれも土曜日)の午後1時～(小雨決行)
＜定員＞各コース50人(先着順)
＜費用＞3000円(保険、資料代)
＜申込期限＞各コース開催日の1週間前
＜申込・問い合わせ先＞多賀観光協会 (TEL)522・0341 犬上郡多賀町多賀(389-1) ☎48・1553番、Eメール taga-kankou@iris.eonet.ne.jp ※
①住所②氏名③年齢④電話番号⑤希望コースを電話か、FAXまたはEメールで申し込んでください。



9月15日(月)祝 までに申し込んでください。※人数には限りがありますので、申込時にご確認ください。
＜申し込み先＞市市民体育センター ☎30・6113番、FAX 24・8577番

DV防止啓発講座

＜内容＞ DV(ドメスティック・バイオレンス)家庭内暴力の基礎講座や、被害者に寄り添った支援について学びます。
＜日時＞9月18日、10月2日、同16日 いずれも木曜日の午後7時～同9時
＜場所＞男女共同参画センター「ウイズ」(平田町)
＜対象＞市内に在住・在勤・在学の人
＜定員＞20人(先着順)
＜費用＞各回300円
＜申し込み期間＞9月3日(水)～同17日(水)
＜託児＞1人1回300円(0歳～就学前、要予約)
＜問い合わせ先＞男女共同参画センター「ウイズ」 ☎・FAX 24・3529番

親子「絵付け」体験教室
2回シリーズ

＜内容＞ ①親子で焼物の絵付け体験と、湖東焼研究者の講演会
②自作品の展示会、茶話会
＜日時＞①9月21日(日)午前9時

ふれ愛ケアフェスタ及「2014フリーマーケット」出店者

＜日時＞9月28日(日) 午前10時～午後3時(雨天中止)
＜場所＞アロフエント彦根(竹ヶ鼻町)
＜出店料＞無料
＜申し込み期限＞9月15日(月)迄
＜申し込み・問い合わせ先＞アロフエント彦根 (TEL)522・0044 竹ヶ鼻町 ☎21・3000番、Eメール arofuente2013@yahoo.co.jp ※往復はがきかEメールで申し込んでください。往復はがきの場合、往信の裏面に①住所②氏名(代表者)③電話番号④主な出店内容(雑貨、古本、衣服など)、返信の表面に①住所②氏名をそれぞれ書いて送付。Eメールの場合は、往復はがき(往信の裏面)と同じ①④と、題名に「フリーマーケット希望」を書いて送信してください。内容確認後、出店許可についてご連絡します。

障害者スポーツカーニバル

＜日時＞10月4日(土) 午前9時～午後3時30分
＜場所＞庄堺公園(開出町) 多目的広場
※雨天時は中老人福祉センター(開出町) 屋内ゲートホール場
＜対象＞市内在住の

道、来迎川
＜対象＞小学生以上
＜定員＞50人(先着順)
＜費用＞1000円(資料代)
＜その他＞集合場所の駐車場は限りがあります。できるだけ乗り合いでお越しください。
＜申し込み期間＞9月1日(月)～同19日(金)
＜申し込み・問い合わせ先＞団教育委員会文化財課 ☎26・5833番、FAX 26・5899番

②同28日(日)午前10時～正午
＜場所＞旧善利組辻番所と足軽屋敷(芹橋二丁目)
＜定員＞20人(先着順。親子ともそれぞれ人数に数えます)
＜費用＞千円(材料費、窯焼成費、食糧費含む)
＜申し込み期間＞9月1日(月)～同20日(土)
＜申し込み・問い合わせ先＞NPO法人湖東焼を育てる会 ☎090・2198・0329番(谷口さん)、FAX 24・8530番 ※①住所②親子の氏名(子どもは学校名と学年も記入)③連絡先を書いてFAXで申し込んでください。後日、案内状を送付します。

歴史探索ウォーク
本庄町・出路町・彦富町を歩く

＜内容＞ 愛知川流域の3町に焦点を当て、地域に残る町並みや風景、中世城館や石造宝塔などの文化財を巡ります。
＜日時＞9月21日(日) 午後1時30分～同4時 ※小雨決行。悪天候による中止の場合、参加者には午前10時までに電話で連絡します。
＜集合場所＞稲枝支所(由原町)駐車場
＜見学場所＞川桁神社、本泉寺、彦留神社、彦富城跡、朝鮮人街



☎23・2293番 ※電話が、直接窓口で申し込んでください。

第2回 多文化交流教室(初級)

＜内容＞ 今年度から「ポルトガル語教室」から「多文化交流教室」に名前が変わりました。あいさつなどの簡単なポルトガル語を学びながら、ブラジルの文化や習慣に触れ、多文化共生について理解を深める教室です。 ※7月に開催しました「多文化交流教室」と同じ内容です。
＜日時＞9月30日、10月14日、同28日(いずれも火曜日・全3回)の午後7時～同8時30分
＜場所＞32会議室(市役所3階)
＜対象＞市内に在住・在勤・在学で、ポルトガル語を初めて学ぶ人、ブラジルの文化を学びたい人(今年度初めて参加する人を優先します)。
＜定員＞20人
＜費用＞千円
＜申し込み期間＞9月1

道、来迎川
＜対象＞小学生以上
＜定員＞50人(先着順)
＜費用＞1000円(資料代)
＜その他＞集合場所の駐車場は限りがあります。できるだけ乗り合いでお越しください。
＜申し込み期間＞9月1日(月)～同19日(金)
＜申し込み・問い合わせ先＞団教育委員会文化財課 ☎26・5833番、FAX 26・5899番

広報ひこね
6月1日号表紙
回収にご協力ください

市では、広報ひこね6月1日号の表紙の回収に努めています。
6月15日号に挟み込んでいる封筒に表紙を入れて市役所に返送していただくか、市役所や支所各出張所などの施設へ直接お持ちいただいても結構です。お手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願いいたします。
お問い合わせ先 団情報政策課広報係 ☎30・6103番、FAX 22・1398番

再就職・就業支援 シニア対象
「ホームセンタースタッフ
技能講習会」

＜内容＞ 網戸や障子、ふすまの張り替えや、畳・浴槽の掃除の仕方のほか、寄せ植え講習などを学びます。
＜日時＞10月9日(木)、同10日(金)、同14日(火)、同15日(水)、同16日(木)、同17日(金)、同23日(木)、11月6日(木)、同8日(土)、12月19日(金) 全10回 午前9時～午後0時30分
＜場所＞彦根市シルバー人材センター(開出町) ほか
＜対象＞講習に係る就業を希望し、ハローワークで求職登録をしている55歳以上(全講義を受講できる人)
＜定員＞20人
＜申し込み・問い合わせ先＞公益社団法人彦根市シルバー人材センター (TEL)522・0056 開出町1-4-19 ☎22・5622番、FAX ☎26・4800番 ※シルバー人材センターにある申込書に必要な事項を書いて、FAXか郵送で申し込んでください。

直瀬杯将棋大会

〈日時〉10月11日(土) 午前10時〜(同9時30分受付) 〈クラス・定員〉年齢、級・段に応じた一般の部3クラス、小中学生3クラス合計120人(アマチュアに限りません)(先着順)
〈競技形式〉予選は各クラスによるリーグ戦(基本4人)を行い、予選通過者による決勝トーナメントを行います(詳細は当日説明)
〈場所〉彦根商工会議所(中央町)4階大ホール
〈費用〉高校生以上 千円 小中学生 500円
〈申込期限〉10月1日(水)必着
〈申込・問い合わせ先〉囲碁教育委員会文化振興室(T522-0055 野瀬町1-87-4) ☎23-



▶昨年行われた大会の様子

7810番、FAX21・3080番※はがきに①住所②氏名(小中学生は学校名、学年も)③フリガナ④年齢⑤電話番号⑥参加クラスを書いて申し込んでください。

介護職員初任者研修

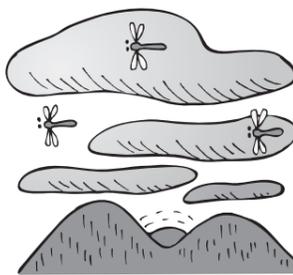
〈内容〉高齢者や障害者(児)のニーズに対応した介護サービスを提供するために必要な知識、技術、心構えを習得することを目的とした、介護職員初任者研修です。教育訓練給付制度により、要件を満たせば受講料の一部が給付されます。
〈日時〉10月〜平成27年1月(期間内の23日間)
〈場所〉ステップアップ21(犬上郡豊郷町八目49)
〈対象〉全日程出席できる人
〈定員〉19人(先着順)
〈費用〉8万円(受講料、テキスト代、実習費を含む)
〈申込期限〉9月26日(金)
〈申込・問い合わせ先〉社会福祉法人とよさと介護職員初任者研修事務局(ステップアップ21内) ☎35・0008番

糖尿病ウォークラリーin彦根

〈内容〉糖尿病の療養として開催します。楽しく歩いて運動の心地良さを実感しましょう。

う。〈日時〉11月8日(土)午前10時〜同11時30分(同9時30分受付)
〈場所〉荒神山公園(日夏町)
〈対象〉市立病院に通院中の糖尿病患者
〈定員〉20人(先着順)
〈費用〉無料(持ち物)飲み物、タオル、糖尿病手帳(持っている人)、補食(必要な人のみ)
〈申込期間〉10月1日(水)〜同31日(金)
〈その他〉運動しやすい服装で参加ください(更衣室はありません)治療中の人は主治医の許可を得て参加してください。
〈申込・問い合わせ先〉市立病院内科外来(T522-8539 八坂町1-882) ☎22・6050番※市立病院内科外来または栄養治療室にある用紙に書いて申し込みしてください。

角型6号(縦229mm×横162mm)6万枚
▼広告掲載範囲
それ3分の1
▼掲載できる広告内容
広告主の業種、広告内容は、彦根市ホームページに掲載の「彦根市広告入り窓口封筒無償提供取扱要綱」「彦根市無償提供窓口封筒広告掲載基準」を遵守してください。
▼設置場所
市役所窓口(市民課、保険年金課、保険料課、税務課、まちづくり推進室)、支所、各出張所
▼設置期間
平成27年2月1日から1年間
〈申込期間〉9月1日(月)〜同29日(月)
※郵送の場合は、9月29日(月)の消印有効
〈申込・問い合わせ先〉困市民課 ☎30・6111番、FAX21・1398番



無償提供者
〈内容〉市民の皆さんなど、市役所来庁者が使用する窓口封筒を無償提供していただく事業者(無償提供者)を募集します。
〈無償提供いただくもの〉
広告入り窓口封筒:来庁者が市民課や税務課などで交付を受けた各種証明書などを入れて持ち帰るための封筒
▼規格・製作予定枚数
角型2号(縦332mm×横240mm)2万枚

広告入り窓口封筒の無償提供者

の大切さを考えていただくために、人権に関わる歌を歌っていただける出演者を募集します。
〈日時〉12月7日(日) 午前10時30分〜 ※出演時間は1組10〜15分以内
〈場所〉滋賀県立文化産業交流会館(米原市)小劇場
〈対象〉県内に在住・在勤・在学の人
〈定員〉18組(先着順)
〈その他〉電源が必要な楽器は使用できません。ピアノとマイクは設置しています。
〈申込期限〉9月30日(火)
〈申込・問い合わせ先〉公益財団法人滋賀県人権センター ☎077-522-8253番、FAX077-522-8253番、ホームページ http://www.shigajinken.or.jp/
※応募状況を電話で確認後、ホームページに掲載している申込書に必要事項を書いて、同センター人権啓発担当に申し込んでください。

第28回彦根シティマラソンボランティアスタッフ



〈内容〉大会当日(11月9日)、大会運営に協力していただけるボランティアスタッフを募集します。
〈業務内容〉走路員(交通整理)
〈その他〉スタッフには役員帽子を渡します。大会当日、現地で業務説明を行いますので、集合時間までに来てください。集合時間、場所などは、後日文書でお知らせします。
〈申込期間〉9月1日(月)〜10月3日(金)
〈申込・問い合わせ先〉彦根シティマラソン事務局(囲碁教育委員会保健体育課内) ☎24・7975番、FAX23・9190番
※電話で申し込んでください。

人権ラッピングフェスティバル出演者

〈内容〉人権(愛・思いやりなど)に関わる歌を通して人権尊重

平成27年度彦根市春の文化祭協賛事業

〈対象事業〉平成27年3月25日(水)〜7月5日(日)に開催される展示・発表など
〈対象団体〉文化芸術団体、社会教育関係団体、またはこれらに準ずる団体で、過去に市内外で展示・発表などの活動実績があ

る団体
〈協賛事業になること〉
①後援名義が使用でき、事業のチラシなどに、「後援:彦根市・彦根市教育委員会」と表示できます。
②広報ひこね文化祭ポスターなどによるPRができます。
〈申込上の注意〉
申込書のほか、使用する施設の使用許可書か、使用申込書の写しが必要です。市民会館ギャラリーは、日程調整会を開催します。※詳しくは募集要項をご確認ください。
〈申込書・募集要項配布場所〉
ひこね市文化プラザ、市民会館1階受付、支所、各出張所、各地区公民館、高宮地域文化センター、みずほ文化センター、市民体育センターなど
〈申込期間〉9月25日(水)〜11月1日(日)
〈申込・問い合わせ先〉
困教育委員会文化振興室 ☎23・7810番、FAX21・3080番



ウチの校風

市立学校紹介

21

彦根市立西中学校

所在地 金亀町8番1号
創立 昭和22年
生徒数 299人(平成26年4月)
教育目標 「品格を養い 変革への挑戦」

西中は、彦根藩弘道館跡に位置し、歴史と伝統のある学校です。特に生徒会活動が盛んで、「⑥明るく笑顔 ⑦感謝・感動 ⑧思いやりの心 ⑨西中健児」の頭文字をとった「あかおに魂」を合言葉に日々の学習・部活動だけでなく、委員会活動にも一生懸命励んでいます。

特に今年は、「あいさつ」「地域貢献」「ルール・マナー」に力を入れています。あいさつ運動では、友達にはもちろんのこと、校門前を通る地域の皆さんにも笑顔であいさつをします。また、5月に小中合同で湖岸清掃を行い、多くのごみを回収して、ふるさと琵琶湖を守る活動を行いました。現在、自他の尊重とルールやマナーを徹底する「西中人権宣言」の具現化に向けてさまざまな活動をすすめています。

西中を卒業した数多くの先輩に負けないうよう、社会に役立つ人を目指して頑張っています。

問い合わせ先 困教育委員会学校教育課 ☎24・7973番、FAX23・9190番



▲小中合同湖岸清掃



▲あいさつ運動



▲あかおに魂

彦根で創業45年 塗装一筋・実績多数
夏の暑さと光熱費を軽減しませんか?
屋根外壁 遮熱塗装
耐久性 防水性 経済性
プロタイムズ彦根店 0120-359-666
有限会社 彦根塗装 FAX0749-23-9661
〒522-0043 彦根市小泉町1020 www.hikone-p.co.jp

無料相談会開催中
9月18日木曜日午後1時から
要予約お電話お待ちしております
TKC全国会 大辻税理士法人
担当税理士 大辻 正樹・田井 尊之
【彦根事務所】滋賀県彦根市平田町410-6
TEL 0749-23-6432(営業時間)
E-mail info@ootuji.com
http://www.ootuji-souzoku-support.com



表1 火災	表2 救助	表3 救急
出火件数 31	出場件数 19	出場件数 2,584
建物火災 15	交通事故 10	火災 5
車両火災 2	機械による事故 3	水難 1
林野火災 1	火災(建物) 1	交通事故 331
その他の火災 13	その他の事故 5	労働災害 24
	活動件数 12	運動競技 13
	救助人員 16	一般負傷 348
主な出火原因		加害 16
放火 5		自損行為 44
たばこ 4		急病 1,707
たぎ火 3		その他 95
死者 1		搬送件数 2,382
負傷者 8		搬送人員 2,444



平成26年上半年 火災・救助・救急事故の発生状況

平成26年度は、管内(彦根市・犬上郡)で今年1月1日から6月30日まで発生した火災・救助・救急事故の状況を統計にまとめ公表しました。

火災概要

火災は31件で、前年同期と比べ8件の減少となっています(表1)。

～消防からのお知らせ～

■「後期」危険物取扱者試験(乙種第4類)

予備講習会
日時 9月28日(日)9:00～17:00
場所 消防本部(西今町) **定員** 72人(先着順)
受講料 5,000円(テキスト代は別、彦根市防火保安協会会員事業所は3,000円)
申込期間 9月1日(月)～同26日(金)8:30～17:15(土・日曜日、祝日は除く)
問い合わせ先 彦根防火保安協会事務局(彦根消防本部消防総務課内) ☎22-0314、FAX22-9427

■甲種防火管理再講習

日時 10月16日(木)9:30～12:00
場所 消防本部(西今町) **定員** 40人(先着順)
受講料 2,600円(テキスト代含む)
申込期間 9月16日(火)～同19日(金)8:30～17:15
問い合わせ先 彦根消防本部予防課 ☎22-0332、FAX22-9427

■危険物取扱者試験【後期】日程(第3回)

日時 10月26日(日)14:00～
場所 滋賀県立大学(八坂町)
申込期間 電子申請:9月2日(火)～同13日(土) 書面申請:9月5日(金)～同16日(火)
申込・問い合わせ先 一般財団法人 消防試験研究センター滋賀県支部(〒520-0806 大津市打出浜2番1号コラボしが21 4階) ☎077-525-2977、FAX077-521-7904 ※書面申請の場合は、各消防署で配布している願書に記入し郵送で申し込んでください。

内訳は「建物火災」が15件と全火災の約48%を占めており、「車両火災」が2件、「林野火災」1件、そのほか雑草などが燃えた「その他の火災」が13件ありました。

主な出火原因は、「放火」が5件、「たばこ」が4件、前年10件あった「たぎ火」が大幅に減少しました。

救助・救急概要

救助出場件数は19件で、そのうち、救助隊が活動した件数は12件で救助した人数は16人です(表2)。内訳は「交通事故」が10件で全救助出場件数の約53%を占めています。救助出場件数は2,584件で、前年同期に比べて39件減少しました(表3)。1日平均で約14件救急車が出場

したこととなります。なお、救急車により搬送された人は2,444人で、前年同期より65人減少しています。

6月6日「救急GEM」

救急医療や「救急業務」についての正しい理解と認識を深めていただくことを目的として、毎年9月9日を「救急の日」とし、この日を含む1週間(今年9月7日(日)～同13日(土))を「救急医療週間」と定め、救急医療の普及啓発運動が全国的に実施されます。急病や交通事故などの救急事故が発生したとき、救急隊が現場に到着するまでの間、その現場に居合わせた人が適切な応急手当を速やかに実施することで、傷病者が救命される可能性

が高くなります。応急手当は、怪我や病気を治すために行うのではなく、悪化させないことが目的です。

彦根消防本部では、「応急手当」を身につけていただくため、年間を通じた救命講習会などを実施しています。

9月6日(土)午後1時～同4時
第1回救急フェア
 ビバシティ彦根(竹ヶ鼻町)で応急手当の体験コーナーや、市立病院職員による血圧測定や医療相談コーナーを設けます。駅前入口では、救急自動車や消防自動車の車両展示を行います。入場は無料です。

問い合わせ先 彦根消防本部予防課 ☎22-0337番、FAX22-9427番

障害福祉に関する共通の地域課題を解決するために、湖東地域で共有する施設や人材などを活用して、定住自立圏で協議・検討を行い、さまざまな事業を実施しています。今回は、平成26年度に変更となった相談支援事業について紹介します。

相談支援体制の充実に向けて
 ▼障害福祉サービスなどの利用のために必要となる「サービス等利用計画」などを作成し、障害のある人の相談に応じる相談支援事業所の拡充を行いました。

これらの相談支援事業所の中核となり、湖東地域障害者自立支援協議会の事務局(運営)機能を有する「基幹相談支援センター」を委託により設置しました。

問い合わせ先 彦根消防本部 ☎27-9981番、FAX26-1767番

障害者(児)福祉サービスの充実

湖東定住自立圏(彦根市と豊郷町、甲良町、多賀町の広域連携)の具体的な取組

平成25年度まで
 ▼相談支援事業所(市町から委託)
 ①彦愛犬地域障害者生活支援センター ステップアップ21(豊郷町)
 ②地域生活支援センター まな(西今町)
 ③相談支援事業所 彦根学園(高宮町)



▲彦愛犬地域障害者生活支援センター ステップアップ21

平成26年度から
 ▼基幹相談支援センターの設置(市町から委託)
 ①彦愛犬地域障害者生活支援センター ステップアップ21(豊郷町) ☎35-0008、FAX35-2123
 ※湖東地域の相談支援事業所の中核。湖東地域障害者自立支援協議会の事務局(運営)機能を有する
 ▼相談支援事業所の拡充(市町から委託)
 ②地域生活支援センター まな(西今町) ☎21-2192、FAX21-2193
 ③相談支援事業所 彦根学園(高宮町) ☎26-7088、FAX26-7077
 ④相談支援センター あおい(西今町) ☎47-6406、FAX47-6407
 ⑤相談支援事業所 かいげ寮(海瀬町) ☎43-3811、FAX43-4111
 ⑥ぼぼ相談室(平田町) ☎47-5190、FAX47-5190

※①はリニューアル、③は拡充(増員)、④⑤⑥は新設



ママの減量と資源化トピックス

第21回 「食品ロス」を減らそう

「食品ロス」とは、まだ食べられるのに廃棄される食品のことです。小売店での売れ残り・賞味期限切れ、製造過程で発生する規格外品、飲食店や家庭での食べ残し・食材の余りなどが主な発生原因です。

もったいない! 大量の食品を破棄する日本
 家庭では、日本全体の約半分にあたる年間200万トン、400万トンの食品ロスが発生しています。これを1人当たり換算すると、毎日おにぎり約1〜2個分を捨てていることとなります。私たちは多くの食べ物を輸入していますが、一方で大量に捨てているのです。

食材を無駄にしないコツ
 ▼食材を「買い過ぎない」、「使う切る」、「食べ切る」
 買い物にかけける前に、冷蔵庫の中の食材や保存食の在庫をチェックし、必要なものを必要なだけ買うようにしましょう。

残った食材は別の料理に活用
 大根の葉はお味噌汁や漬物に、人参の葉は天ぷらにすれば、食材を使い切ることができます。また、残ってしまったポテトサラダはサンドイッチの具材に、野菜炒めはナンプラーを加えてエスニック風にアレンジするなど、ちょっとした工夫で1品が2度おいしくなります。

大切な食べ物を無駄なく消費し、食品ロスを減らす環境や家計に優しい生活をするようにしましょう。

問い合わせ先 彦根市生活環境課 ☎30-6116番、FAX27-0395番

【開催中】～9月30日(火)

テーマ展「武家の祝い—彦根藩の祝賀行事—」

彦根藩では、新年や藩主国入りなどの吉事に際し、藩を挙げての祝賀行事を行っていました。藩主と藩士の対面、祝儀品の下賜といった事例から、武士社会の祝儀について明らかにします。



ひこねしやうおもてごてんおもてむきえす
▲彦根城表御殿表向絵図

常設展示の名品

ほんものとの出会い

— 常設展示の名品 —

常設展示「ほんものとの出会い」では、譜代大名筆頭・井伊家に伝えた名宝を中心に、80点余りを展示しています。

【展示中】～9月30日(火)

能面 小姫

是閑吉満 作

若い女の面の一つで、張りのある豊かな頬に笑みを浮かべた、明るく華やかな表情の作品。

作者の是閑吉満は、豊臣秀吉に「天下一」の号を許された、桃山時代を代表する面打です。



文化プラザだより

チケットのお申し込み、お問い合わせは
チケットセンター ☎27-5200 (9:00~19:00)
インターネットでも購入いただけます。http://bunpla.jp/

注目のイベント

10月29日(水) 19:00～ グランドホール
コンドルズ「グランドスラム」彦根スペシャル公演



ダンス、映像、コント。今、最も熱い人気カンパニー「コンドルズ」が、ベスト版で彦根初参上。必見！！

指定 一般 4,500円
【発売中】 友の会 4,000円

※未就学児入場不可

11月22日(土)14:30～ みずほ文化センター
桂吉弥「彦根亭落語会」in みずほ文化センター

「古典落語の持つ魅力を多くの人に伝えよう！」をキャッチフレーズに大阪を中心に活躍中。上方落語をご堪能ください。



指定 一般 シングル 2,800円
ペア 4,400円
【発売中】 友の会 シングル 2,520円
ペア 3,960円

※未就学児入場不可

公演日が「いい(11)夫婦(22)の日」であることにちなんでペア券を発売しています。ひこね市文化プラザチケットセンター、みずほ文化センターのみの発売です。

9月の休館日 1日(月)、8日(月)、16日(火)、22日(月)、29日(月)

◎表記のチケット価格は、すべて税込価格です。

9月のイベント

チケット発売情報

Hikone City Culture Plaza (H.C.C.P音・楽・月・間)

9月6日(土) 16:00～ グランドホール
高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト「COLORS」

指定 一般 4,000円 高校生以下 2,000円
【発売中】 友の会 3,600円 高校生以下 1,800円
※当日料金は、それぞれ500円増 ※3歳未満入場不可

9月12日(金) 19:00～ グランドホール

日医工 presents
葉加瀬太郎
Best Acoustic Tour
「エトピリカ」
supported by Iwatani

指定 一般 7,560円
【発売中】 友の会 7,400円
※当日料金は、それぞれ500円増 ※未就学児入場不可

9月14日(日) 16:00～ グランドホール

小曾根 真 featuring No Name Horses
「10th anniversary tour "Road"」
指定【発売中】 一般 6,000円 友の会 5,400円 ※未就学児入場不可

11月6日(木) 14:00～ グランドホール

ひこね市民大学特別講座
「歌うこと、演じること、そしていきること」
講師 倍賞千恵子
自由【9月7日発売】 一般 2,000円 友の会 1,800円
※ひこね市民大学特別講座 セット券有

12月21日(日) 14:00～ グランドホール

第17回ひこね市民手づくり第九演奏会
自由【9月28日発売】 1,500円 当日券 2,000円

【各公演 発売初日の予約の取り扱いについて】
※電話予約・インターネット予約のみの受付となります。
※窓口でのチケット引き取り・販売は開館日から承ります。

ひこね市文化プラザ 友の会会員募集中！ 詳しくは☎26-8601へ
ひこね市文化プラザ サポーターズ (運営ボランティア) 募集中！

ときの玉手箱

博物館からのメッセージ

直政を偲び、彦根藩の存続を祝う — 井伊直政百五十回忌 —

一般に、故人が亡くなった年月日(祥月命日)にはその菩提を弔うため法事を営みます。没年の翌年には一周忌、2年後には三回忌を行い、その後も節目の年には法事を行います。特に十三回忌以上で、五十回忌・百回忌などの遠い回忌のことを「遠忌」といいます。

彦根藩井伊家の歴代当主の場合、五十回忌以上の時には、菩提寺での法事に加え、遠忌が無事に済んだことを祝う行事が行われることがありました。今回は寛延2年(1749)に行われた井伊直政(初代当主)百五十回忌を取り上げ、遠忌後に行われた祝賀行事を紹介しましょう。

井伊直政は慶長7年(1602)2月1日に没しており、百五十回忌は149年後の寛延4年(1751)に行われる計算になります。しかし実際の百五十回忌は、関ヶ原の戦い(1600)から150周年(1499年後)である寛延2年に合わせるため、2

年の前倒しで行われました。遠忌後の祝賀行事の具体的な内容は次の通りです。まず直政の没日である2月1日までの3日間、百五十回忌の法事が菩提寺の清涼寺において執り行われました。その後3日間の日程で、遠忌が無事済んだことを祝う行事が彦根城表御殿(現彦根博物館)において行われました。

まず2月1日、上層藩士22人が家老・中老などの役職ごとに表御殿へ召され、御座之間・書院鶴之間などにおいて、吸物・酒の下賜を受けています。翌2日、前日は法事のため清涼寺に詰めていた藩士3人が、書院鶴之間で吸物・酒を下賜されました。そして同日6日、松之間縁において、判明している限りで99人の陪臣(藩士の家臣)へ吸物・酒の下賜が行われました。この陪臣達は、1日に下賜を受



▶民部様御贈御用日記 寛延2年2月1日の記事

けた藩士達の家臣で、井伊直定(8代当主)が清涼寺へ参詣した際に騎馬でのお供を勤めた者達であったと考えられます。このように、表御殿における行事では、役職や身分内の序列によって行事が行われる場所が異なっていました。また、同様の祝儀の下賜は江戸の彦根藩邸でも行われており、直政百五十回忌における祝賀行事には多くの人が関わっていました。

井伊直章(のち当主直幸)に仕えた賄役の日記である「民部様御贈御用日記」(写真)によれば、この祝賀行事は、関ヶ原における直政の武功により、150年に渡って彦根城を相続してきたことを祝って行われたと記されています。この行事には、藩成立のきっかけとなった関ヶ原の戦いと、そこで活躍した井伊直政の事績を、直政百五十回忌をきっかけに思い起こさせると共に、その後150年に渡り転封もなく存続してきた彦根藩の現在を皆で祝おうとする意図が見えます。現在でも、故人の生誕・没後から区切りの良い年数が経つ時に合わせて顕彰の行事を行うことがありますが、今回紹介した遠忌後の祝賀儀式は、このような慣習の原形であったのかもしれない。

(彦根博物館学芸員 青木俊郎)
写真の古文書は、テーマ展「武家の祝い—彦根藩の祝賀行事—」で9月30日(火)まで展示しています。(期間中無休)

※特に記載のないときは、事前申込みは不要で、費用は無料です。

行事名	日時	場所	内容・問い合わせ先等
松居直和写真展	～10月24日(金) 8:30～17:30	高宮駅コミュニティセンター ギャラリー・ホール (高宮町)	伊吹山や竹生島など湖北の風景や、地元の祭りを中心に、心を込めて撮った写真を展示します。 松居さん ☎090-1586-0228
ふれあいタイム	9月6日(土) 14:00～15:30	ふれあいの館 (八坂町)	パネルシアターの上映のほか、ふれあい遊びや歌遊びなどを楽しめます。 対象：幼児(保護者同伴)、小学生 ふれあいの館 ☎・FAX25-4452
ひこねエコマーケット「夢畑」	9月7日(日) 10:00～14:00	大手前公園 (金亀町)	「リユース・リサイクル品」の中から、欲しいもの、掘り出し物を見つけてください。※雨天中止 園生活環境課 ☎30-6116、FAX27-0395
介護家族のつどい「ほっこり」	9月9日(火) 13:30～15:30	くすのきセンター 2階医療福祉推進ルーム (市立病院敷地内)	認知症などの家族を抱える介護者同士が、日頃の思いを共有したり、情報交換などをする会です。気軽にご参加ください。 費用：200円(茶菓子代、初めて参加の人は無料) 園健康推進課 ☎24-0816、FAX24-5870
介護家族のつどい「ほっこり・らぶ」	9月9日(火) 13:30～15:30	くすのきセンター 2階医療福祉推進ルーム (市立病院敷地内)	若年性認知症などの家族を抱える介護者同士が、日頃の思いを共有したり、情報交換などをする会です。気軽にご参加ください。 費用：200円(茶菓子代、初めて参加の人は無料) 園健康推進課 ☎24-0816、FAX24-5870
街中サロン	9月10日(水)、同27日(土) 10:00～14:30	川地工務店「minto」 (長曾根南町)	知的障害や発達障害のある人やその家族が、悩みなどを話して情報交換をする場です。27日(土)は小野幸弘さん(働き暮らしコート支援センター長)と、障害の特性から生活と就労を語ります。 NPO法人彦根育成会 ☎24-8624、FAX26-1747
彦根城博物館出張講座 あなたの街の歴史探訪「高宮地区の歴史」	9月13日(土) 10:00～11:30	高宮地域文化センター (高宮町)	博物館学芸員が古代から近代にかけての地域の歴史を紹介します。 費用：100円 定員：100人(先着順) 彦根城博物館学芸史料課 ☎22-6100、FAX22-6520
滋賀の保育所就職フェア	9月13日(土) 13:00～16:00	ビバシティ彦根 2階ビバシティホール (竹ヶ鼻町)	県内保育所の保育内容や採用情報、働く保育士の声などを直接聞くことができます。 対象：学生、一般求職者 一般社団法人滋賀県保育協議会 ☎077-525-5203、FAX077-521-2117
第30回たんぼぼまつり	9月14日(日) 10:00～15:00	グリーンピアひこね (清崎町)	チャリティーバザーや、ステージ発表など。 たんぼぼ作業所 ☎25-2446、FAX28-2424
鳥居本宿の文化財に親しもう	9月14日(日) 10:00～16:00	鳥居本町 旧中山道沿い	彦根市指定文化財の岩根家住宅、国の登録有形文化財の答申を受けた寺村家住宅の一部見学できます。 鳥居本お宝発見隊(寺村さん) ☎・FAX22-4275
彦根市精神障害者家族会「集まろう会」	9月16日(火) 13:30～16:00	障害者福祉センター (平田町)	精神障害者の家族が集まり、情報交換や学習会をします。 園障害福祉課 ☎27-9981、FAX26-1767
滋賀県立大学COC公募型地域課題研究報告会	9月18日(木) 13:00～15:30	大学サテライト・プラザ アル・プラザ彦根6階 (大東町)	地域づくりに役立てるための研究課題の成果を発表します。 滋賀県立大学地域共生センター(星野さん、北井さん) ☎28-9851、FAX28-0220
ひこねで朝市	9月21日(日) 8:00～12:00	滋賀県護国神社境内 (尾末町)	「食の安全」「地産地消」「手作り」を掲げ、地場野菜、豆腐、醤油、湖魚料理などを販売します。 ひこねで朝市実行委員会(ひこね市民活動センター内) ☎24-4461、Eメール hikonedesaichi55@gmail.com
元気21歩こう会	9月21日(日) 9:00～10:30 (集合9:00)	集合場所： 滋賀県立大学南側駐車場 (八坂町)	自然があふれる県立大学の敷地をウォーキングをします。 費用：100円(保険代など) 「ひこね元気クラブ21」事務局(園健康推進課内) ☎24-0816、FAX24-5870
タカのわたり	9月23日(火・祝) 9:00～12:00 (集合8:50)	集合場所： 龍潭寺駐車場 (古沢町)	秋に南国へ帰る渡り鳥や、周辺の植物を、佐和山山頂で観察します。※台風など天候により中止する場合があります。 持ち物：水筒、双眼鏡など 費用：100円 定員：30人 申込期限：9月16日(火) 快適環境づくりをすすめる会事務局(園生活環境課内) ☎30-6116、FAX27-0395
男女共同参画推進のための 県民参加のシンポジウム	9月26日(金) 17:30～19:00	滋賀医科大学 (大津市瀬田月輪町)	子育て中の女性医師、看護師の支援をテーマに講演とパネルディスカッションを行います。定員：100人 滋賀医科大学男女共同参画推進室 ☎077-548-3599

「火災保険が使える」と誘う
住宅修理契約にご注意ください

市内で最近起こった相談事例の情報をお伝えします。

「火災保険に加入をしているか」と突然、電話で聞かれた。「この前の台風で屋根が壊れている家を事前に見てもらった。お宅の屋根もひどく壊れているが、火災保険に加入をしていると保険金で修理ができるので全くお金はかからない。」と言われた。

後日、業者の説明を家で受けた時、実際に傷んだ屋根の写真を見せてくれた。最近では屋根に上がることもなく、瓦がひどく傷んでいる写真を見て、すぐに修理の契約をしたが、本当に火災保険で修理してもらえるのだろうか。



自然災害による住宅の損害については多くの場合、加入をしている火災保険などで補償されますが、老朽化による損害は保険金の支払い対象外です。

修理サービスの契約前に、契約をしている保険会社に問い合わせをしてください。当窓口でも相談を受けています。

「保険申請の手続きもします」「無料で修理できます」と誘われても、すぐに契約するのは危険です。「保険金対象外だったので全額自己負担に

なったと修理代金の請求をされた」「取り消しを伝えると、高額なキャンセル料金を請求された」など、トラブルが発生しています。ひどく壊れた写真を見せられると、心理的にあわててしまうこともあります。早く修理をした方がよい」と契約を急がされても、まずは、誰かに相談をしましょう。「しまった」と思った時も、ご相談ください。一緒に解決方法を考えます。

彦根市消費生活相談窓口 ☎30・6144(午前9時～正午、午後1時～同4時15分)

ナターリヤの部屋



第3回 「国際理解」って?

私は彦根市に来る前、さいたま市に住んだことがあります。そのとき、日本のことを何も知らないブラジル人の母とこんな会話をしました。

母「やっぱり、ナターリヤが日本に行くと、心配するものね…」
ナ「え? どうして?」
母「日本には侍がいるじゃない? もし侍がナターリヤを切ったら…」
ナ「ええー!？」
笑い話みたいな会話ですが、母はそのことをとても真剣に言いました。そのとき、「家族に日本のことをちゃんと伝えることができていなかった」と気付かされました。私は15歳のときから日本

語と日本文化を勉強しているのに、母にとっては日本といえば「侍・寿司・着物」だけだったので。つまり、日本に対して固定観念しか持っていなかったため、いろいろと誤解をしてしまったようです。

現在、日本でも「国際理解」という言葉が広まりつつあると思いますが、その「国際理解」を深めるためには、どうすればいいのでしょうか。

最初に、「考え方を広げる」ことがいちばん大事だと思っています。例えば、どんなに外国について調べても、その国に対するイメージはなんとなく限られていることでしょう。でも、固定観念を持つよりも、考え方を広げることができたら、「国際理解」がもっと身近に感じられるようになると思います。

ブラジルについて「サッカー・カーニバル・アマゾン」以外に何があるところだろう、イギリスについて「フィッシュアンドチップス・ビートルズ・エリザベス女王」以外に何があるところだろう、などと考えてみてください。きっと皆さんも素敵な発見ができると信じています。

【彦根市国際交流員 ナターリヤ】



彦根城フェス 市民公募イベントが決定

彦根城フェスでは、恒例イベントに加え、新たに実行委員会の主催イベントや市民公募イベントを実施します。

市民公募イベントには、市民の皆さんから11事業の応募があり、その中から5事業が決定いたしました。今回は、その中の4事業をご紹介します。(1事業は8月にプレイベントを行い終了)

御城下惣発見

(まち遺産ネットひこね主催)

彦根の魅力は城だけじゃない！江戸時代の古地図を開くと、今まで気付かなかった城下町の魅力が見えてきます。まち歩きで城下町の隅々まで惣発見してみましょう。(※事前申込制)

日時 9月21日(日)、10月18日(土)、11月1日(土)、同15日(土)(10月18日のみ13:00集合。ほかは10:00集合。)

費用 500円
(1回あたり)

定員 30人(1回あたり)

場所 市内各所

申込・問い合わせ先

まち遺産ネットひこね
☎090-3465-0910 (尾田さん)



彦根城フェス FESTIVAL

模型で巡る日本の名城

(琵琶湖モデラーズクラブ主催)

戦乱に巻き込まれた石田三成の居城・佐和山城は構造、規模も明らかになっていません。今回は、幻となっている佐和山城を最新の発掘状況に基づいて300分の1のスケールで復元します。また、80分の1のスケールの彦根城をはじめ、日本の名城を模型で再現し、一堂に展示します。

日時 10月1日(水)～11月30日(日)
8:30～17:00
(最終入館16:30まで)

費用 無料
場所 開国記念館
(金亀町)

申込・問い合わせ先
琵琶湖モデラーズクラブ ☎0749-63-5678



赤に備えよ！

(赤に備えよ！実行委員会主催)

彦根と戦国サブカルチャーを楽しむことを目的に、コスプレイベントや声優トークショーなどを行います。「井伊の赤備え」にちなんで、当日「赤い格好」で参加した人には、「赤備え特典」を用意しています。

日時 11月8日(土)、同9日(日)

費用 無料(コスプレ参加の人は、更衣室使用料として1,500円必要)

場所 四番町スクエア、夢キャッスルロード、彦根城ほか

申込・問い合わせ先

赤に備えよ！実行委員会 ☎22-0520 (ひこらぼ内)



「彦根城のひみつの巻物」でお城を探検して、彦根小判をもらおう！

(NPO法人小江戸彦根主催)

巻物に記されたお堀や門、櫓天守などの説明を見ながら、お城の中をめぐってクイズを解いていきます。お城から下りて城下町に入れば、指定の場所でクイズのご褒美に彦根小判がもらえます。

日時 開催中～11月30日(日)

対象 小・中学生

費用 267円(巻物代)

場所 彦根城域内

その他 巻物の販売、小判の受け取りは、戦国丸、夢京橋あかり館、彦根駅前観光案内所、彦根観光協会事務所などで実施しています。

申込・問い合わせ先 NPO法人小江戸彦根事務局
☎080-1461-4123



第63回彦根市美術展覧会
アートフェスティバル
～美術と音楽のコラボ～

会期 9月15日(月・祝)～同21日(日)
※9月16日(火)は休館

時間 午前9時30分～午後5時

会場 ひこね市文化プラザ(野瀬町)

入場料 無料

展示部門 日本画、洋画、彫刻、美術工芸、書、写真

市展では、彦根市と近隣市町の皆さんから公募した作品の中から、審査を経た力作を多数展示します。

また、「アートフェスティバル」美術と音楽のコラボ」と題し、期間中にコンサートを開催します。

芸術の秋にふさわしい、美術と音楽をお楽しみください。

▼オープニングコンサート
日時 9月15日(月・祝) 午後2時～
出演 西中学校・南中学校・彦根中学校吹奏楽部

▼ウェルカムコンサート&表彰式・作品講評会
日時 9月20日(土) 午前9時～
出演 彦根児童合唱団

▼会場コンサート
日時 9月21日(日) 午後2時～
出演 箏曲宮城会 藤野社彦根箏曲連盟

問い合わせ先 困教育委員会文化振興室 ☎23-7810番、FAX21-3080番

第48回 彦根城能

入場券発売中

日時 9月20日(土) 午後3時30分

場所 彦根城博物館能舞台

演目・出演
▼観世流能「田村」替装束
浦田保親ほか

▼大藏流狂言「文山立」
茂山正那ほか

▼観世流能「杜若」恋之舞
片山伸吾ほか

入場料(全席指定)
A席5,500円
B席5,000円

販売窓口・問い合わせ先 彦根城博物館
☎22-6100番、FAX22-6520番

※入場券は、彦根城博物館受付と電話でお求めいただけます。

※彦根城博物館には駐車場がありません。城内の有料駐車場をご利用ください。

※開演時間、演目、出演者などは都合により、変更することがありますのでご了承ください。



▲観世流「杜若」恋之舞

秋の文化祭

主催：彦根市・彦根市教育委員会

問い合わせ先 困教育委員会文化振興室 ☎23-7810、FAX21-3080

【9月の行事】

行	事	期 間	時 間	会 場	入場料
開国記念館	企画展「佐和山城と石田三成」	～8月31日(日)	8:30～17:00(入館は16:30まで)	開国記念館	無料
彦根城博物館	テーマ展「武家の祝い-彦根藩の年中行事-」	～9月30日(火)	8:30～17:00(入館は16:30まで)	彦根城博物館	有料
彦根おやこ劇場	第99回例会高学年例会「ねこはしる」	8月30日(土)	18:30(開場18:00)	文化プラザ・メッセホール	会員制
第28回	みずえの会 水彩画展	9月5日(金)～7日(日)	9:30～16:30(7日は16:00まで)	市民会館・ギャラリー	無料
ひこね市文化プラザ	高嶋ちさ子 12人のヴァイオリニスト「COLORS」	9月6日(土)	16:00(開場15:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
彦根おやこ劇場	第99回例会幼児低学年例会「いかりのギョウザ」	9月6日(土)	13:45(開場13:30)	南地区公民館	会員制
写 団 B & W	モノクローム写真展	9月11日(木)～14日(日)	10:00～17:00(11日は12:00から、14日は16:00まで)	市民会館・ギャラリー	無料
ひこね市文化プラザ	葉加瀨太郎 Best Acoustic Tour「エトピリカ」	9月12日(金)	19:00(開場18:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
彦根JOYジュニアオーケストラ	20周年記念コンサート	9月13日(土)	15:00(開場14:00)※14:30からロビーコンサート	文化プラザ・エコーホール	有料
ひこね市文化プラザ	小曾頼真 feat.No Name Horses Road 10th Anniversary Tour	9月14日(日)	16:00(開場15:30)	文化プラザ・グランドホール	有料
滋賀県立大学	第十九回「淡海能」	9月14日(日)	11:00(開場10:30)	彦根城博物館・能舞台	無料
第63回	彦根市美術展覧会	9月15日(月・祝)～21日(日)※16日(火)は休館	9:30～17:00	文化プラザ	無料
彦根城博物館	第48回彦根城能	9月20日(土)	16:00(開場15:30)	彦根城博物館	有料
全日本写真連盟滋賀県本部	第22回彦根支部写真展	9月25日(木)～28日(日)	10:00～17:00(28日は16:00まで)	市民会館・ギャラリー	無料
みずほ文化センター	和太鼓公演「倭-YAMATO」	9月28日(日)	14:00(開場13:30)	みずほ文化センター多目的ホール	有料



健康だより

すくすく ベイビー



柴田 浩成ちゃん (外町)



平田 友都ちゃん (南川瀬町)



川畑 波月ちゃん (松原町)



ひこね元気計画21 マスコットキャラクター “コンキー君”

健康推進課(八坂町 市立病院敷地内・くすのきセンター2階) ☎24-0816、FAX24-5870

健康推進課(八坂町 市立病院敷地内・くすのきセンター2階) ☎24-0816、FAX24-5870



健康だより

9月7日(日)～同13日(土) 救急医療週間

コンビニ受診は控えましょう

軽い症状にもかかわらず、夜間や休日などに救急医療機関を安易に利用する「コンビニ受診」は、重症患者の治療に支障をきたすおそれがあります。救急医療を本当に必要としている人のために「コンビニ受診」は控えてください。

日曜日、祝日の急病のとき、まずは彦根休日急病診療所へ

時間 10:00～19:00 (受付は18:30まで)
場所 市立病院敷地内(八坂町)くすのきセンター1階
診療科 内科・小児科

☎22-1119

小児救急電話相談 (15歳以下の子どもの急病に関する相談)

短縮ダイヤル☎#8000

☎077-524-7856

相談日時 平日・土曜日18:00～翌朝8:00 (日曜日・祝日は9:00～翌朝8:00)

9月は「健康増進普及月間」と「食生活改善普及運動月間」です

1に運動 2に食事 しっかり禁煙
最後にクスリ～健康寿命の延伸～

生活習慣病は、日常生活のあり方と深く関連しています。健康の保持・増進のために、運動の習慣や食生活の改善が重要です。

彦根市では、「ひこね元気計画21(第2次)～健康増進計画・食育推進計画～」で、毎月21日を「健康づくりの日」、19日を「食育の日」とし、さまざまな取り組みを行っています。

「自分の健康は自分で守る」ことを意識し、できることから取り組みましょう。

市民健康診査

(健康診査・結核健康診断・肺がん検診・肝炎ウイルス検診)

健診は、健康状態を知る第一歩です。年に1回は健診を受けましょう。

対象 彦根市に住民登録があり、次の要件に該当する人(年齢は平成27年3月31日基準)

◆健康診査(問診、身体測定、腹囲測定、血圧測定、尿検査、血液検査、内科診察)

①昭和50年4月1日～平成8年4月1日生まれの人

②昭和14年4月2日～昭和50年3月31日生まれの生活保護受給者(彦根市に住民登録はないが、彦根市に在住している人を含む)

◆結核健康診断 昭和25年3月31日以前に生まれた人

◆肺がん検診 昭和25年4月1日～昭和50年3月31日生まれの人

◆肝炎ウイルス検診

① 40・45・50・55・60歳の人で、過去に彦根市の肝炎ウイルス検診を受けていない人(対象者には5月下旬に通知しています)

② ①の年齢を除く41歳以上の人で、過去に彦根市の肝炎ウイルス検診を受けていない人(検診の1週間前までに健康推進課に電話かFAXで申し込んでください)

日時

実施日	場所	受付時間
9月25日(木)	高宮地域文化センター	9:30～11:00
9月27日(土)	くすのきセンター	
9月30日(火)	福祉センター	
10月3日(金)	福祉センター	9:30～11:00 13:00～14:30
10月9日(木)	ひこね燦ぱれす	
10月10日(金)	中地区公民館	9:30～11:00
10月11日(土)	くすのきセンター	

※費用や持ち物、注意事項など詳しくは、広報ひこね5月15日号と同時に配布した「平成26年度彦根市健康診査・がん検診のお知らせ」をご覧ください。

次の人は、検診料が無料となります

①検診当日、70歳以上の人

②一定の障害のある65～69歳の後期高齢者医療の被保険者

③生活保護による被保護世帯の人

④市県民税非課税世帯の人(検診当日に健康診査受診料免除票が必要です。健康診査受診料免除票をお持ちでない人は、検診の1週間前までに印鑑をお持ちのうえ、健康推進課の窓口で申請してください。申請用紙は彦根市ホームページからダウンロードできます)

※受診後に、検診料の減免はできません。

次の人は、彦根市の検診は受診できません

乳がん・子宮頸がん 妊娠中の人、妊娠の疑いのある人

乳がん ペースメーカーを入れている人、豊胸手術、形成手術、水頭症手術をした人、授乳中の人

子宮頸がん 生理中の人、子宮を全摘出した人

※しこりや痛み、出血などの自覚症状のある人、乳房や婦人科の病気で治療中、経過観察中の人などは、直接医療機関にご相談ください。

乳がん・子宮頸がん検診(医療機関検診)

がん検診をワンコイン(500円)で受けることができますようになりました

乳がん検診

対象 市内に住民登録を有する40歳以上の人(平成27年3月31日現在)

受付期限 平成27年2月27日(金)

検診項目

◆40～49歳 問診、視触診、マンモグラフィ(2方向)

◆50歳以上 問診、視触診、マンモグラフィ(1方向)

受診方法 検診料(500円)を持って、健康推進課、市民課、支所、各出張所の窓口で事前に申し込み、受診券を受け取ってください。医療機関に予約後、受診券を持って受診してください。

医療機関	電話番号	予約
彦根市立病院 健診センター(八坂町)	☎22-6058	要
豊郷病院(犬上郡豊郷町)	☎35-3001	
KKCウエルネスひこね健診クリニック(古沢町)	☎050-3541-2265	

子宮頸がん検診

対象 市内に住民登録を有する20歳以上の人(平成27年3月31日現在)

受付期限 平成27年3月31日(火)

受診方法 検診料(500円)を持って、直接医療機関で受診してください。

医療機関(彦根市内)	電話番号	予約
足立レディースクリニック(佐和町)	☎22-2155	不要
神野レディースクリニック(中央町)	☎22-6216	
神野レディースクリニックアリス(八坂町)	☎29-9025	
神野レディースクリニックソフィア(川瀬馬場町)	☎25-5566	
はやし婦人クリニック(竹ヶ鼻町)	☎26-0528	要
彦根市立病院(八坂町)	☎22-6050	
山下医院(長曾根町)	☎24-5290	
彦根中央病院(西今町)	☎23-1211	
KKCウエルネスひこね健診クリニック(古沢町)	☎050-3541-2265	

※子宮頸がん検診は、上の表以外にも滋賀県内の産婦人科医療機関で受診できます。詳しくは、健康推進課にお問い合わせいただくか彦根市ホームページをご覧ください。

乳がん・子宮頸がん検診は2年に1回の検診です。集団検診を含めて、平成25年4月1日から平成26年3月31日の間に彦根市の乳がん・子宮頸がん検診を受けた人は、今年度受診できません(ただし、がん検診無料クーポン券対象者は受診できます)。

▶がん検診無料クーポン券の対象者を拡大しました。該当する人には、すでにごがん検診無料クーポン券を送付しています。詳しい内容については彦根市ホームページを確認ください。なお、平成26年4月20日以降に彦根市に転入された人で、すでに他市町からがん検診無料クーポン券が送られてきた人は、健康推進課までご連絡ください。

KKCウエルネス ひこね健診クリニック

☎050-3541-2265

彦根市国保人間ドック契約機関

彦根駅 東口すぐ 完全予約制 土・日 受診可能

お陰様で大好評です!!

無料 結婚相談会

結婚をお考えの方、婚活でお悩みの方、この機会に是非お越し下さい。ご家族・親御様だけのご相談もお待ちしております。

※お一人様1時間程度です ※直接会場までお越し下さい ※予約不要

9/14 ひこね燦ぱれす ミーティングルーム

10～17時 滋賀県彦根市小泉町648-3 ※駐車場、駐輪場あり

株式会社マリエージュ 〒521-1125 彦根市稲枝町19-1 ☎0749-43-4225



話題のひろば

広報
ひろば

通巻第1317号
(平成26年9月1日発行)

発行：彦根市
編集：情報政策課
●1日・15日発行

「ロボカップ2014」世界大会 快挙 中学生へアが世界第3位



7月にブラジルで開かれた自律型ロボットの世界大会で、ジュニアサッカーライトウエイト部門に日本代表として出場した馬場峻平さん（南中学校3年・写真左）と石橋尚之さん（東中学校3年・同右）のチーム「VICTORY（ビクトリー）」が第3位の優秀な成績を収め、8月14日、市役所へ結果報告に訪れました。

この部門は、1チーム2台のロボットが赤外線を発する電子ボールを追い、ゴールに入れて得点を競うもので、アメリカや中国などの代表計13チームが出場しました。

市のサッカーロボット講座で学び、チームを結成した2人は「自分たちの英語が伝わりにくく大変だったけど、いろいろな国の代表と対戦でき、とてもよい経験ができました。これからさらに上のクラスで世界に挑戦したいです。」と話していました。

由緒ある能舞台で堂々と 「狂言発表会」



8月13日、小学5年生8人が彦根城博物館で狂言の発表会を行いました。

これは、同館が企画した「キッズサマースクール」の一環で、毎年実施しています。プロの狂言師の指導を受けた8人は、7月下旬から稽古に励みました。披露した演目は「附子」。

子どもたちは、独特の言い回しや、扇を使った立ち振る舞いなど、稽古で学んだ成果を大きな声で発表しました。演目を終えて修了証を受け取った子どもたちは、無事に演技きった安堵感で笑顔がこぼれていました。

人口と世帯数

平成26年8月1日現在

人口	112,597人 (+ 37)
男	55,554人 (+ 6)
女	57,043人 (+ 31)
世帯数	45,225世帯 (+ 21)

()内は前月との比較

風水害に備えて



彦根市総務部危機管理監

辰巳 清

表紙の写真

風水害はいちばん身近で、思わぬ被害をもたらす災害です。危険を感じたときは避難情報を待つことなく、自主的に避難しましょう。

「災害は忘れた頃にやってくる」とよく言われます。京都府や滋賀県に甚大な被害をもたらした昨年の台風18号の教訓をもとに、災害発生時には命を守る最善の行動をとりましょう。

「広報ひろば」は大豆油インキを含まない植物性インキを使用しています。
▼廃棄する場合には古紙回収に出してください。
▼この「広報ひろば」は50,300部作成し、1部当たりの単価は1円(1円未満切り捨て)です。ただし、原稿作成・編集などにかかる職員の人件費は含まれていません。

